

はとのたより

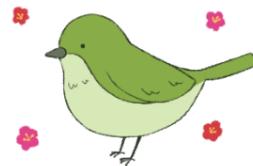
日に日に寒さも和らぎ、春の陽気が感じられる季節となりました。今年度も残すところあと1か月となりました。4月、進級・入園したばかりの頃は、少し不安そうな表情を見せていた子どもたちも、今では自信に満ちた姿へと成長し、それぞれが進級・卒園に向けて最後のひと月を迎えようとしています。

先日の生活発表会・懇談会には多数ご参加いただき、ありがとうございました。保護者の皆さまの温かいまなざしの中で、子どもたちが自分の力を発揮する姿を共に喜び合えたことを、大変うれしく思っております。また、この一年間、園の保育活動にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今月は、季節の移ろいに目を向けながら園外散歩に出かけ、草花の芽吹きや春の風を感じる活動を大切にしていきたいと思えます。子どもたちが自然の中で心と身体を伸びやかに動かしながら、ゆったり保育していきたいと思えます。



2026年3月2日
はとのさと保育園
園長 西山 美乃



3月の予定

日	曜日	行事・研修
2	月	身体測定
3	火	ひな祭り・茶道体験
4	水	身体測定
7	土	新入園児内科健診・説明会
10	火	誕生日会
17	火	避難訓練
21	土	卒園式
25	水	移行期間～31日

子どもとスマホ

講師：香川大学・常田美穂

学習会の様子！

兵庫県保育所運動連絡会「ちいなか部会」主催の学習会では、はとのさと保育園をサテライト会場とし、法人職員や保護者の皆さんとともにオンラインで学びを深めました。

私たちの生活の中でスマホは欠かせない存在となり、次々と飽きさせないようにつくられる動画は強い魅力を持ち、瞬間的にアドレナリンが放出されると言われています。子どもにとってその楽しさは、遊びや学び、人との関わりよりも即効性のある刺激となりやすく、つい惹きつけられてしまいます。それでも、親子や友達と一緒に体験すること、全身を使って思いきり遊ぶこと、自分で工夫して達成感を味わう活動など、リアルな体験にはスマホにはない深い喜びがあります。それは、五感や身体感覚を育て、人とつながる力の土台となる大切な時間です。また、AIの時代を生きる子どもたちにとって、自分の経験をもとに「これは違う」と選択の判断をできる力こそが、将来 AI を使いこなすための土台になると感じました。

世界ではオーストラリアが16歳未満の SNS 禁止を法律化しています。大人は理性で調整できますが、子どもはこれから経験を積み重ねていく途中です。一方的に遮断せず、家庭では親子で話し合い、守れる約束を3つほど決めることがポイントだそうです。保育園では、子どもの「やりたい」を引き出し、気持ちを表す言葉をたくさん届けながら、豊かな体験を積み重ねていきたいと思えます。(資料がありますので必要な方は事務所まで。)



節分

4,5歳クラスの豆まきは、お互いに交代で鬼になって豆まきをしました。乳児クラスでは、大人が鬼になって豆まきをしました。自分だけのお面がお気に入りの様子でした。

給食の巻き寿司をする様子を興味津々にみる子ども達。年長のほし組では自分たちで巻き寿司をしました。てんやわんやの大騒ぎでしたが、自分で作ったお寿司をおいしそうにほうばっていました。



わらべ歌

長年毎月、わらべうた研修に来てくださっていた稲上先生一身上の都合で、2月で最後になりました。子ども達と一緒に遊んでくださり、職員もたくさんわらべ歌に触れることができました。



ひな人形

ホールやお部屋に子ども達が作ったひな人形が春の華やかさを彩っています。是非ご覧ください。



お知らせ

保育写真 CDR 贈呈について

年度末に1年間の各クラスの保育の様子の写真のデータをまとめたCDRを各家庭に贈呈します。ぜひご家庭でご覧ください。

*各家庭で楽しむ目的以外での使用はお控えください。

職員についてのお知らせ

- ・2月よりに調理師が1名勤務しています。
- ・育児休暇でお休みしていた明石が2月24日から復帰しています。